



☆理科授業中の学びの様子をお伝えします！☆

理科専科の柴崎です。理科専科となって3年目になります。担任の時期が長かったのですが、子供たちからは、ずっと理科専科の仕事をしているように思われています。憧れの理科専科となった1年目は、科学実験教室の内容充実に努めてきました。おかげさまで前任校では児童に喜んでもらい、児童とのコミュニケーションとしてのツールとして役立ちました。2年目は児童の理科研究に力を注ぎました。児童に声をかけ募集したところ、約10名の児童が参加してくれて理科研究に休み時間を利用して毎日取り組みました。児童の頑張りが認められて学校賞を受賞することができました。そして、3年目の今年度は、科学的な根拠に基づいた器具やおもちゃ作製に取り組んでいます。本校の子供たちがこの器具やおもちゃを通して、理科好きになってほしいと思います。

(1) 5年の理科「花から実へ」

花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができることをヘチマの観察を通して学習しました。この単位を通して、観察、実験などに関する技能を身に付けることができました。



↑ おばなのおしべから花粉を採取しているところ

↓ 花粉を顕微鏡で見ている様子



(2) 6年の理科「水溶液の性質」

水溶液には酸性、アルカリ性及び中性があること、水溶液には気体が溶けているものがあることや、水溶液には金属を変化させるものがあることなどを観察、実験を通して理解していく学習です。たくさんの実験を伴うので、器具の扱いに触れ、実験技能を身に付けることができます。また、グループの友達と取り組むため、協力することの大切さも学ぶことでしょう。



